

植草学園の今を伝える

2023 November vol.31

heart

特集

全国からの入学生

子育て支援

教育実践センター「こいっく」

本学で身についたスキルを教えてください。

実習や講義に加え、ボランティア活動や附属施設での学びを生かせる場面があるため、専門知識が磨かれました。またグループディスカッションの多い講義を通して、就活に必要な自己表現のスキルも身につきました。

受験生にメッセージをお願いします。

常に明るく、一つひとつ丁寧に指導してくださる先生方は、勉強や実習に励む学生たちの大きな支えになります。きっと「植草学園大学に決めて良かった!」と思うことのできる大学生活を送れるはずです。

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 幼児・保育専攻3年

穴吹 絢

(香川県立高松高等学校)

香川県
出身



Where are you from?

全国からの入学生

植草学園大学は平成20年4月に開学以来、同じ夢や目標に向かう学生たちが全国から集い切磋琢磨しながら楽しい学生生活を送っています。

令和7年4月には看護学部が開設予定です。※予定であり変更となる場合があります。

※発達教育学部は令和6年度からコース制を導入します。

植草学園大学を選んだ理由は？

大学で一人暮らしをして生活力を身につけたいと考えていたので、地元を離れることにしました。本学は少人数制なので先生との距離が近く、学修面に限らず何でも気軽に相談できることが魅力だと思います。

近況とこれからの目標を聞かせて。

3年生になってからより臨床に近い学びが多くなり、目標とする理学療法士に近づいていることを実感しています。また本学だからこそ可能な理学療法士と音楽療法士のダブルライセンスの取得に向け、日々勉強に励んでいます。

群馬県
出身

植草学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法専攻3年

吉野 由希

(群馬県前橋市立前橋高等学校出身)





福島県 出身

植草学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科
作業療法専攻2年

芥川 光河

(福島県立田村高等学校出身)

長野県 出身

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 特別支援教育専攻2年

倉嶋 杏莉

(長野県私立長野日本大学高等学校出身)

植草学園大学を選んだ理由は？

小学生の頃から興味があった特別支援教育に特化した授業を受けられるからです。また、障害がある人もない人も同じ場でともに学ぶことのできる、「インクルーシブ教育」に取り組んでいるのも魅力でした。

入学後の様子と 将来の目標を教えてください。

特別支援学校教諭を目指す学生が多く、それぞれの支援に対する考え方を聞いたことで視野が広がりました。将来は障害のある子どもたちに対して、社会に出た時に困らないような支援のできる教員になりたいです。

植草学園大学を選んだ理由は？

様々な計測器具や福祉機器が完備され、ロボットリハビリテーションなどの先端技術についても学べるからです。教員一人と数人の学生で定期的に学ぶ「学修チューター制度」があることにも惹かれました。

本学ならではの魅力を教えてください。

千葉県内の様々な医療施設や実習施設で学外実習を行うことができます。また、多職種協働、地域連携、コミュニケーションスキルなどを学ぶことで、チームアプローチに必要な協調性や責任感も養えます。





子育て支援・教育実践センター

こいっく

こいっくちゃんキャラクター
デザイン: 植草学園大学 小川 晶 准教授

02



森で遊ぼう みんなで一緒に、共生の森のお散歩。ワクワクする出会いがたくさんあります！



森のおはなし会 (實川ゼミ) 心地良い風を感じながらの森のおはなし会。学生が読む絵本に親子が聴き入っています。



親子であそぼう (松原ゼミ) 学生と一緒にからだを使ってたくさん遊びました。親子の笑顔が広がります。

0~6歳のお子さんと保護者、妊娠中の方とそのパートナーの方のための場所です。おもちゃいっぱいスペースで、自由に遊ぶことができます。そこでは、保育者を目指す学生が実習しています。学生と遊ぶことを楽しみにして参加して下さる親子もいらっしゃいます。ゆったりした空間は、親子と学生のふれあいの場となっています。

森のおはなし会

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
幼児・保育専攻4年 實川ゼミ



舛田 明瞳 (千葉県立行徳高等学校出身)

低年齢の子どもたちと、その保護者の方と森のおはなし会ができて嬉しいです。ゼミで考えた保育を実践して、子どもたちが喜ぶ姿を見ることもでき、課題も見つかりました。手遊び、絵本、体操、すべてが関係したものに統一することでスムーズに繋げることができて、まとまった活動にすることができました。

植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科
幼児・保育専攻4年 實川ゼミ



早川 恵海 (植草学園大学附属高等学校出身)

草木が生える野外で、ブルーシートを敷いて、太陽や風を全身で感じながらの活動。手遊びも絵本も体操もどれも環境が変わるだけで、初めて体験するようなわくわく感がありました。室内とは違い、たくさんの植物や虫が身近にいる環境では、参加した子ども・大人関係なく、ゆったりとした気持ちで過ごすことができました。

親子であそぼう

植草学園短期大学 こども未来学科2年 松原ゼミ



吉屋 彩未 (千葉県立土気高等学校出身)

松原先生が「タオルであそぼう!!」の授業内容を実践されましたが、バリエーションを膨らませたり、大判タオルを使ったりと、実際に親子と一緒にやる様子を見ることや、体験することができました。保護者の方からの感想には、学生パフォーマンスにも好評の言葉が多くあり、とても嬉しく思いました。ゼミの仲間と実践したため、安心感や連携感があり、やりやすかったです。この貴重な経験を今後に生かしていきます。

植草学園短期大学 こども未来学科2年 松原ゼミ



川崎 悠月 (千葉県立四街道北高等学校出身)

動きの確認のリハーサルは行いましたが、実際には子どもたちが動き回ったり、気になって見にくる子どもが出てくる状況になったりと焦りました。しかし、言葉かけをしながら実践し、臨機応変に対応することができました。保護者の方にも楽しんでいただき、実習とは違う経験をたくさん重ねることができました。



子育て支援センター 保育士 永井 今日子さん

学生にとって 絶好の学びの場に

こいっくが親子ともに心地良い居場所となるよう、個々の表情や変化に気づけるように心がけています。実習に参加する学生の多くが緊張していますが、それは真剣に取り組んでいる証拠です。その姿はきっと親子に伝わり、センターの魅力に繋がるはず。子どもに関わる楽しさと同時に、親の気持ちを知り、育児の大変さも理解できるこいっくは、学生にとって絶好の学びの場だと思います。



子育て支援センター 保育士 岡野 呂美さん

楽しさと自然を感じられる 恵まれた環境

こいっくには地域の子育て支援と、学生が子育て支援に関わる教育実践の場という2本柱の役割があります。保育者を目指す大学生・短大生が実習を行い、附属高校の生徒も夏休みにボランティアに参加しているため、学生・生徒と遊ぶことを楽しみにしてくださる親子もいらっしゃいます。また、四季の移ろいや動植物を身近に感じられる共生の森など、恵まれた自然環境もこいっくならではの魅力だと思います。



子育て支援センター 保育士 塚本 かおりさん

親子との貴重な ふれあいの体験を

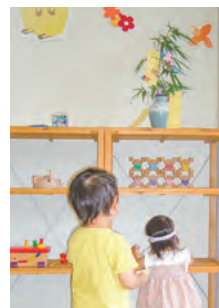
子どもの気持ちと保護者の考えを尊重し、親子と円滑なコミュニケーションを図ることを大切にしています。実習生の学生には、難しい状況になってもすぐに自分で考えて行動できるよう、アドバイスやサポートを行っています。こいっくの実習で親子とふれあった貴重な体験を学生には、今後に生かしてほしいと考えております。



手形スタンプで遊ぼう 親子一緒に手形べったん！ 成長の良い記念になります。



手形アート 手形スタンプが、さらに素敵なアートに！ 保護者の方のアイデアが表現されています。



保育士イベント 年間を通していろいろな行事があります。親子で一緒に作る作品は、お家に飾って楽しんでいただけます。



こいっく畑 さつまいもと綿花の成長がとても楽しみ！ 秋には、親子でお芋掘りを予定しています。



理学療法・作業療法を行う上での

重要な鍵となる

「神経内科学」

授業紹介

保健医療学部
リハビリテーション学科
前田 仁士 教授



保健医療学部
リハビリテーション学科
理学療法専攻3年
田村 悠悟
(千葉県立市原八幡高等学校出身)



前田 神経内科学は、頭のてっぺんから足の先まで張り巡らされている神経の病態を扱う科目です。授業ではどのような印象を受けましたか？

田村 科目名を聞いた時は脳や中枢神経と末梢神経のことに触れて、脳卒中などの病気について学ぶのかと思ったのですが、実際は神経難病や生活習慣病に関する学びの方が多いと感じました。

前田 私が実際に臨床で体験したことをこぼれ話として話題にすると、学生たちは興味深く耳を傾けてくれましたね。

田村 特に印象的だったのはパーキンソン病についての授業です。前田先生から原因やメカニズムな

どを分かりやすく丁寧に教えていただいていたので、他の授業でパーキンソン病を扱った時には事前準備の時間をしっかりとって取り組むことができました。

前田 理学療法や作業療法では、体を動かさなくなった人の回復を目指すことが基本になるので、手足を動かすことに最も関連する神経内科学の知識がとても重要になります。ですから、しっかりと学んで欲しいですし、知れば知るほど将来に役立つと思いますよ。

田村 以前はスポーツ障害のリハビリテーションしか頭になかったのですが、授業を受ける中で神経難病などの疾患のある患者様にもリハビリテーションが効果的なこ



とを知り、視野が広がりました。

前田 自分が興味をもったことをとことん突き詰めていくと自然と学びが深まります。田村君も持ち前の向上心を武器に、これからも立ち止まることなく知識の探究に努めて欲しいと思います。

田村 前田先生のゼミで卒業研究をしっかりと完成させ、興味のある分野の学びに力を入れていきたいと思っています。



ゼミ紹介

何らかの困難さを抱える

子どもたちと家族に寄り添う

「堀ゼミ」

ポッチャ大会を通じて

特別支援学校ポッチャ大会では交流試合も行います。いつの間にか本気になって一緒に楽しめるフラットな関係を実感できることもポッチャの魅力です。卒業生はこうした経験も生かし、特別支援学校、障害児者施設、保育の場で活躍しています。

植草学園短期大学 こども未来学科長

堀 彰人 教授



「ゆるく 繋がろう!」を合言葉に、障害のある子や“気になる子”への関わりを様々な視点から考える活動をしています。また、植草学園大学とも協力しながら毎年行われる特別支援学校ポッチャ大会の企画・運営にも携わっています。



参加者が気持ち良くポッチャで戦えるよう、自身の役割に努めます。

植草学園短期大学
こども未来学科2年

相馬 静華

(植草学園大学附属高等学校出身)



全員に役割があって、お互いに話し合える空気感が好きです。

植草学園短期大学
こども未来学科2年

河上 遥

(千葉県立木更津東高等学校出身)



障害のある子の対応を身近な物を使って学べ理解が深まり楽しい!

植草学園短期大学
こども未来学科2年

實川 紗衣

(茨城県立波崎高等学校出身)



障害のある子どもと家族への対応をもっと知りたくて選びました。

植草学園短期大学
こども未来学科2年

栗本 瑞穂

(千葉県立四街道北高等学校出身)



ポッチャ大会に参加する全ての人が楽しめるようにがんばります!

植草学園短期大学
こども未来学科2年

久保木 拓斗

(千葉県立佐原白楊高等学校出身)

教授・講師陣紹介

時代は変わる
障害児教育も変わる植草学園大学 副学長
発達教育学部 発達支援教育学科

野澤 和弘 教授

「桜色の風が咲く」のモデルの福島智さんとは、厚生労働省の社会保障審議会
で出会い、私が外部顧問として担当している東京大学の「障害者のリアルに迫る
ゼミ」のゲスト講師の常連でもあります。福島さんは目と耳が不自由な重複障害
者で世界初の大学教授（東京大学先端科学技術研究センター教授）になった人
として有名ですが、私にとっては愉快な飲み友だち。ニューヨークで深夜までワイ
ンを飲みながら語り合ったこともあります。

障害者といえば福祉の対象とばかり思われてきましたが、時代は変わりました。
地域生活を支える福祉サービスや予算は激増し、企業での就労も当たり前になり、
文化芸術では世界でも注目される存在になりました。特別支援学校・学級で学ぶ
障害児は増え続け、通常学級で発達障害があるとされる子どもは8・8%に上
ります。様々な要因がありますが、背景には「障害者」とされることに以前ほど抵
抗感がなくなってきたことが挙げられます。

福島さんは障害者観を変え、障害者福祉を改善した象徴的な存在です。幼いこ
ろから家族の惜しみない愛情に支えられてきたことが今の福島さんを作ってきま
した。時代は変わりますが、家族の愛情や絆、一人の人間を大きく開花させる教
育や福祉の可能性は変わりません。授業やゼミを通して学生たちにそうしたこと
を伝えていきたいと思っています。



FOCUS

植草学園大学 副学長 野澤和弘が、
映画「桜色の風が咲く」の制作に協力しました。

映画「桜色の風が咲く」（松本准平監督、2022年）は、9歳で失明し18歳で聴力を失っ
た福島智さんが、母親の令子さんが考案した指点球というコミュニケーションを使って
勉強し、大学受験をするまでを実話に基づいて描いています。

私（野澤）は構想段階から松本監督の相談に乗り、福島さんや制作協力者を紹介する
などの協力をしてきました。主演のお母さん役は小雪さん。私は悩めるお母さんを支え
る医者役で出演できないかと松本監督と話したのですが、それは実現しませんでした。
ちなみに、映画ではリリー・フランキーさんが医者を演じています。



福島さん（左）と指点球の通訳者

U E K U S A L I F E

中村 聡志さんの一日の授業

	月	火	水	木	金
1限					家庭科指導法
2限	知的障害教育Ⅱ		キャリア演習Ⅲ		自閉症スペクトラム教育総論
3限	教育心理学				視覚・聴覚障害教育概論
4限	専門ゼミナールⅠ		小学校教育実習事前事後指導		
5限			特別支援教育実習事前事後指導		

ゼミは、最も関心のある特別支援に特化した研究のできる佐川研究室に所属しています。



STUDENT VOICE

実習に力を入れる一方でサークルや
課外活動にも積極的に取り組んでいます。

夏休み前に4週間の小学校教育実習を行いました。秋からは特別支援学校で3週間の教育実習が始まります。他大学よりも実習期間が長いので、児童との関係の築き方をより深く学ぶことができます。放課後はバレーボールとバスケットで先輩・後輩との絆を深め、授業のない日は学外の「ちば！教職たまごプロジェクト」に参加して教員としての意識や能力を高めたり、接客のアルバイトでコミュニケーションスキルを磨いたりしています。

植草学園大学 発達教育学部
発達支援教育学科 小学校教育専攻3年

中村 聡志（茨城県立取手松陽高等学校出身）



ONE DAY SATOSHI'S

勉強とスポーツで毎日がとても充実しています。



通学

自宅から大学まで約2時間かかるため、6:40には家を出ます。



授業開始

今は実習が多いのですが、それ以外の日は授業前に軽く予習をします。



お昼休み

友人と昼食をとりながら話をするこの時間が、最も気分転換になります。

STUDENT VOICE

チューター制度の先生や仲間と一緒に
学ぶ時間がテスト対策になっています。

子どもに関わる作業療法士を目指しているため、楽しみながらリハビリテーションのできる音楽療法士2種の資格取得のための授業も履修しています。カリキュラムの中には小テストが毎回ある科目もありますが、週一回はチューター制度の先生やグループの仲間と集中的に勉強する時間があるので、テスト対策がしっかりできます。また、普段友人と話す時も授業の内容が話題になるので、楽しく学んだことが身についていきます。

植草学園大学 保健医療学部
リハビリテーション学科 作業療法専攻1年

高橋 光咲（千葉県私立東京学園浦安高等学校出身）

高橋 光咲さんの一日の授業

	月	火	水	木	金
1限	音楽実技Ⅳ		スポーツ・レクリエーションⅡ（理論）	音楽療法概論	特別支援教育概論
2限	音楽実技Ⅱ	英語Ⅱ		作業学演習Ⅱ：陶芸 手工芸	コミュニケーション論
3限		解剖学実習	音楽実技Ⅲ	音楽実技Ⅰ	障害者・高齢者の心理
4限	生理学実習	解剖学実習		運動学Ⅰ	文章表現演習
5限	生理学実習				

休日は睡眠をたっぷりとり授業の復習をしています。



ONE DAY ARISA'S

友だちと充実した
学生生活を送っています。



予習

朝は早めに登校し、教科書を読むなどして時間を有効活用しています。



復習

午後の授業開始まで90分あるので、試験前は友人と一緒に勉強もします。



帰宅

友だちとの語らいの時間。一日を振り返りながら、楽しく帰ります。

附属施設の日常を紹介！

学園だより

UEKUSA SCHOOL NEWS

植草学園大学附属高等学校

体育大会

5月1日(月)、YohaSアリーナにて、4年ぶりに3学年合同の体育大会が実施されました。本校の体育大会は、全学年がクラス対抗で競い合い、各クラスが一致団結して種目に挑むのが特徴です。今年の種目はバスケットボール、ドッジボール、3人4脚、棒リレー、綱引き、クラス対抗リレー、長縄ジャンプです。どの種目もルールを守りながら、一生懸命に応援する姿や種目に精一杯取り組む姿が印象的でした。また、特別対戦として男子生徒チームVSジェフユナイテッドチームVS教職員チームのリレー対決も行われました。どの種目でも熱戦が繰り広げられ、とても盛り上がりました。クラスTシャツやハチマキ、手作りの応援グッズが華やかさを加え、大いに盛り上がった体育大会となりました。



普通科特進コース／千葉大学キャンパスツアー

7月11日(火)、特進コースの1年生は千葉大学キャンパスツアーを実施しました。今回のメインは理学部棟にある『サイエンスプロムナード』というミニ科学館の見学です。ここでは、生物の標本や実験器具などが展示されていて、直接手に取り体験することができました。高校の学習と大学の学修との繋がり的一端を感じ取ることができ、生徒たちは興味津々に見学していました。終了後は、「他の大学も見に行きたい」や「もっとたくさん勉強しよう」といった声が上がりました。それぞれが自分の将来の目標を考え、高校3年間でどのように過ごすかを考える契機となり、大変有意義な時間となりました。



英語科／サマーキャンプ

7月13日(木)～15日(土)、福島県のブリティッシュヒルズにおいて、英語科1年生のサマーキャンプが実施されました。ホームステイ先での会話練習を行う『Homestay English』のレッスンや、スコーンを作るクッキングプログラムにも参加し、様々な国籍や性格の講師から、多くのことを学びました。『Speech Skill』では、“My dream”というタイトルでスピーチを作り、一人ずつ発表をしました。文章を丸暗記するのではなくポイントのメモだけを見て自然に話すことや、アイコンタクトの大切さなど、スピーチの基本を教わりました。自由時間にも、英語を使ったゲームに参加しショッピングを楽しむなど、充実した2泊3日を過ごすことができました。天候にも恵まれ、今後の英語学習に繋がる有意義な研修となりました。



第11回フラガールズ甲子園 新人賞受賞！！

フラダンス同好会

●**同好会を立ち上げたきっかけ** リーダーの増子さんがフラダンスの経験者で高校生になったらフラガールズ甲子園に出たいという夢をもっていた。高校でフラダンスを広めたいという思いもあり、担任の清宮先生に相談したことが始まり。

●**現在の部員数** 2年生9人／1年生6人

●**発足** 2022年6月からスタート。文化祭での有志発表を目標に活動が始まった。有志発表は大成功に終わり、現在の2年生の部員2人はステージ発表を見て感動し入部を決めた。

●**大変だったこと** 初めてのことに挑戦だったので具体的な目標が曖昧で方向性がバラバラになった時期や自分たちのやりたいことが分からなくなる時があった。フラダンスを踊るうえで表情の練習や体幹の強化、笑顔のキープや綺麗に魅せる所作を身につけること。

●**目標** フラガールズ甲子園で入賞すること。そのためには、練習量を増やしてレベルアップをしていく。部員数をさらに増やしていく。踊れるフラダンスのレパートリーを増やし、タヒチアンなどにも挑戦をしていきたい。

●**フラガールズ甲子園の感想** とにかく楽しかった。出ることが夢だったので叶えられて嬉しい。出場するまでに助けてくれた先生、親、仲間に感謝。楽しくて幸せな3日間でした。

●**部活の雰囲気** 1、2年生の仲が良く、全員でフラダンスを楽しんでいる。

●**メッセージ** お客様を笑顔にできる演技をしたい。お花のような笑顔で見てる人たちに幸せを届けられるチームでいたい。

●**チーム名** 「ラウレア プア」ラウレアがハワイ語で平和、幸せ、友情という意味でプアが花という意味。

●**顧問の清宮先生の印象** 綺麗に魅せることに特化していて、的確なアドバイスをもらえる、太陽みたいな存在で歩くパワースポット！

●**顧問からのメッセージ** フラダンス同好会は、リーダーを中心に目標をもって練習をしています。部員同士でコミュニケーションを取りながら絆を深め、けじめのある同好会です。情熱あふれる演技を是非見に来て下さい。



目指せ！県大会出場！！

卓球同好会

●**同好会を立ち上げたきっかけ** キャプテンの杉岡さんが担任の奥田先生との面談で卓球経験者がいることを知り、同じクラスで5人メンバーが集まったことが始まり。

●**現在の部員数** 2年生3人／1年生7人

●**発足** 2022年10月から

●**大変だったこと** 練習場所と時間を確保すること。

●**目標** 地区大会で入賞し、県大会でも活躍・賞状をもらうこと。

●**部活の雰囲気** 先輩・後輩で仲が良く楽しく活動しています。経験者に教えてもらいながら練習ができるので初心者でも大丈夫です。

●**メッセージ** 県大会を目指してがんばります。気軽に練習を見に来てください。活動日は月・火・木・金・日です。

●**1年生の言葉** 卓球を続けたくて植草に入学を決めました。中学生の時に1年間活動をしていて高校生になって再チャレンジできることが嬉しいです。卓球を高校でやるか迷っていたが、体験入部で先輩が優しく楽しかったので入部を決めました。先輩に感謝しています。卓球同好会に入る時は体験をしてくれたら安心できると思うので一目見に来てほしいです。

●**顧問の奥田先生の印象** 練習に付き合ってくれて面倒見の良いフレンドリーな先生です。とても親切で用具の貸し出しや用意をしてくれます。

●**顧問からのメッセージ** 卓球がうまくなりたい子や大会に出場したい子はぜひ見学に来てください。私も練習をしているので一緒に成長していきましょう。



植草学園大学附属 弁天こども園

大学や高校との連携の中で

こども園は、大学の附属園として実習生やボランティアの受け入れの他、森の遠足やさつま芋の収穫等で小倉キャンパスを利用し、隣接した附属高校とは災害時や運動会等の施設利用などの連携を図っています。特に3歳以上児のクラスでは、今年度より大学の造形の先生による「アートワークデー」を実施しており、様々な素材に触れながらその特性を知り、子どもたちの主体的な活動として制作や表現活動に繋がられるよう、月2回程度の活動の時間を設けています。これまで、クラフト紙や紙テープを体に巻き付けたり、束ねたり、結んだり、ちぎったりして遊ぶことや、クレヨンで思い切り描いてみる、折りたたんだ紙を切ることで開いた時にできる模様のおもしろ

さ、紙テープで作る色水などを経験してきました。園では、子どもたちのイメージの広がりや創意工夫を大切にし、アートワークでの経験を普段の保育の中に生かしていきたいと考えています。また、年長児は高校の英語の先生による「英語で遊ぼう」を毎月1回行っており、月ごとのテーマに沿ったカリキュラムの中で、楽しく英語に触れています。はじめは緊張していた子どもたちも、回を重ねることで自信をもって挨拶をしたり、遊びを通して覚えた言葉を使ったりし、身近になった英語で表情豊かに表現しています。今後は、ハロウィンやクリスマスなどの行事に合わせた「英語で遊ぼう」が予定されており、子どもたちにとっては楽しい活動となっています。



山登り～高いね！



足は青、手は黄色だよ！



箱積み木渡り、できるよ！



高速段ボールキャタビラー



挑戦！ジャンプするよ～



すごい跳躍！

小規模保育事業 植草学園 このはの家

振り返りを大切に

園内研修で『室内遊び』をテーマに話し合いをしていた時《環境》に焦点が定まり、大人目線とは違った好奇心旺盛な子どもたちの心情を深掘りする機会となりました。探索意欲を発揮し興味のあるものへと自ら近づく子どもたちに、時には大人の想像がつかない行動で危険を感じ「ちょっと待って！〇〇したい気持ちは分かるけど…」と声をかけることもあります。職員で話を深めていくと「ちょっと待って！」の裏には今の環境がそうさせているのではないか。たとえば「目の前に広い空間があると、開放感から走り出すのは子どもたちの素直な心情」「物を取りに行くのに直角に曲が

ることは子どもにとって難しい動き」など。開園以来当たり前としてきた室内環境を見直し、子どもの気持ちに寄り添った配置に変えると「子どもたちにとって心落ち着き集中できる空間に」そして「職員にとって無駄のない動きへ」と変わりました。また、ハイハイの動きが活発になった0歳児クラスに手作りの頑丈なつい立を設置すると、つかまり立ちやつたい歩きに動しむ姿がみられ、できた喜びから満面の笑みを浮かべます。これからも子どもの活発な探索行動が豊かな感覚や感性を促していくことに留意し、安全で活動しやすい環境作りを行っていきます。

英語でいろいろな言葉を覚えよう！



クラフト紙をまもってみたよ！



紙テープで遊ぼう！



画用紙やセロハン紙を切って作ろう！



英語で「フルーツバスケット」

植草学園 千葉駅保育園

遊びに意図的な運動を

ペリエ千葉5階の園庭は、空を見上げ開放感を味わえますが、十分な広さとはいえ近隣公園に出かけ鬼ごっこやボール遊び等エネルギーを発散させて遊ぶことが多い保育園です。月1回、3歳以上児は美浜幼稚園の広い園庭で過ごす際に、他園の子どもの巧みな身のこなしに比べて経験不足を感じました。近年は転ぶと顔や歯をケガする子どもの事例が多く報告されています。危ない場面であまり身をかわすことや逃げることで、自分のからだを守ることが乳幼児期から身につくよう、多様な動きの運動を「やってみたい！」と思える遊び環境を整えて、さまざまに経験

していけるようにすることが千葉駅保育園の課題の一つです。未満児クラスは、一人ひとりが自由に動き回れて繰り返してできるような時間を確保していきたいものです。また、以上児クラスも同様ですがスペースに限りがある保育園、園内でも多様な運動経験ができるように遊びを工夫しながら取り入れ運動機能を育てています。身体を動かして遊ぶことが楽しいと思えるように、成功体験を重ね、自信に繋げていきたいと思っています。

以前の0歳児クラスの様子



このはの家

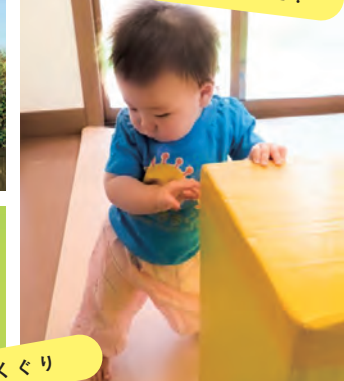


現在の0歳児クラスの様子



ハイハイでトンネルくぐり

つたい歩き じょうずにできた！





JATI 認定トレーニング指導者 受験資格

理学療法学専攻は、日本トレーニング指導者協会（JATI）が認定するトレーニング指導者養成校となりました。それにより、令和6年度の入学生より、JATIが認定するトレーニング指導者の受験資格を得られるようになりました。トレーニング指導者養成科目では、一般の子どもから高齢者、さらにはアスリートに対して、科学的な根拠に基づく適切な運動プログラムの実践力を身につけます。資格は、理学療法学専攻の必修科目に加え、選択科目を2科目履修した後、認定試験に合格することで取得できます。受験に必要な手続きは、本学でサポートします。 ※受験料および協会入会料は別途必要です。

理学療法士



トレーニング
指導者

+αのライセンスが未来を拓く



独立行政法人国立病院機構千葉医療センターと 植草学園大学が包括連携に関する協定を締結

— 両機関の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展へ —

千葉医療センター附属千葉看護学校の校舎を活用し、植草学園大学が令和7年度の看護学部設置に向け、千葉医療センターと植草学園大学との包括連携に関する協定を2023年7月14日に締結いたしました。

協定の目的は、千葉医療センターと植草学園大学が、包括的な連携の下、ますます複雑・高度化することが予測される医療に対応できる看護職等の育成に係る、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的としています。



千葉医療センター 事務部長	中祖 恵輔
看護部長	西村 武彦
病院長	森嶋 友一
植草学園大学 学長	中澤 潤
学校法人植草学園 理事長	植草 和典
事務局長	宮尾 孝

（写真左より）

SCHOOL SKETCH

[学園スケッチ] 高校C棟

植草学園大学附属高等学校のC棟は、昭和56年に特別教室棟として新築されました。新築当初には植草文化服装専門学校の服飾デザイン科ときもの科が、平成9年3月に閉校するまで同居していたので服専の思い出が残る校舎です。C棟は鉄筋4階建て、4階には図書室が配置されています。校舎が小高い丘の上に建っていることから、図書室からは千葉駅周辺が一望でき、気持ち良く読書を楽しむことができます。C棟が完成しA棟(本館)とも3階上空通路で結ばれたことにより、高校としての施設整備が大きく進み、生徒数も急激に増加していきました。また、このC棟1階には学園法人本部の事務室が平成19年まで置かれていました。平成20年に植草学園大学が開校されたことを機に、本部機能は小倉キャンパスに移されたのです。本部機能の移転は、その後の学園運営が大学を中心としたものへと変わったことを示しております。



学園長 植草 和典

植草
学園

教育研究振興資金寄付者名簿

(2023年3月1日～2023年8月31日)

個人

1	匿名	15	小林 英夫	29	國井 光男
2	大平 真由	16	松井 久美	30	田中 彩葉
3	都祭 史	17	廣田 実	31	堀野 史郎
4	鎗田 充彦	18	小泉 佳右	32	藤田 孝明
5	飯田 健一	19	齋賀 照代	33	齋藤 篤
6	岡田 伸弥	20	高橋 正一	34	園川 緑
7	石橋 葉子	21	太田 公昭	35	堀 彰人
8	久保田 優	22	金子 淳子	36	根本 曜子
9	越川 正紀	23	田中 正雄	37	加藤 沙織
10	菰田 真弓	24	山田 清	38	松原 敬子
11	雨宮 茂典	25	上野 卓爾	39	佐川 桂子
12	三宅 信之	26	横山 直子	40	内田 詩子
13	入江 美佐恵	27	山崎 進	41	小川 晶
14	潮 栄子	28	北川 百合	42	桑子 治雄

業者

1	有限会社 米元商事	9	有限会社日商
2	有限会社シーオープンビルサービス	10	英進商事株式会社
3	株式会社意匠院	11	鶴沢建設株式会社
4	株式会社総・設計	12	デュプロ株式会社
5	光工商株式会社	13	有限会社前橋園
6	清稜監査法人	14	Shamrock Records 株式会社
7	長谷川 伸	15	株式会社千葉測器
8	株式会社吉井自動車工業	16	瀧本株式会社 東京店

その他

1	植草学園大学後援会	3	植草学園大学 発達教育学部 令和4年度卒業生一同
2	植草学園短期大学後援会	4	植草学園大学 保健医療学部 令和4年度卒業生一同

(順不同・敬称略)

●個人：42件 ●業者：16件 ●その他：4件 合計：62件

編集後記

植草学園大学
発達教育学部 発達支援教育学科

足立 英彦 准教授

今号では、全国からの入学生と子育て支援施設「こいっく」に焦点を当てました。こいっくは、大学の地域貢献と教育の充実の両方に役立っています。これは、本学が行ってきた取り組みの一例ですが、このような地道な蓄積が評価され、遠方からも入学者が来てくださっているとすれば大変嬉しいことです。



U-heart

Vol.31 November 2023

U-heart編集委員会

編集委員長：足立 英彦

副委員長：園川 緑

編集委員：窪谷 珠江 大塚 栄子

小林 鶴枝 中村 愛里

須田 富美子

共生社会（インクルーシブ社会）の実現に貢献できる看護師・保健師の養成

あなたの可能性を
あなかな未来に



植草学園大学

オープンキャンパス 看護学部 相談ブース開設中
2023年12月16日(土) 2024年3月20日(水・祝)

申し込みはこちら→



- ①これからの時代に求められる看護職(看護師・保健師)を育成します。
- ②国立病院機構千葉医療センターとの包括連携協定をいかした、豊かな学習環境を提供します。
- ③地域とのつながりを大切にした教育を行います。

詳しくはこちら→



- ・看護学部設置構想中(2025年4月開設予定) ※予定であり変更となる場合があります
- ・U-heart 32号で「看護学部」特集決定！



植草学園大学/植草学園短期大学

〒264-0007 千葉県千葉市若葉区小倉町1639番3

TEL: 043-233-9031 (代表)

【入試・広報課】

TEL: 043-239-2600 (直通)

URL: <https://www.uekusa.ac.jp>

